

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2022No.264】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

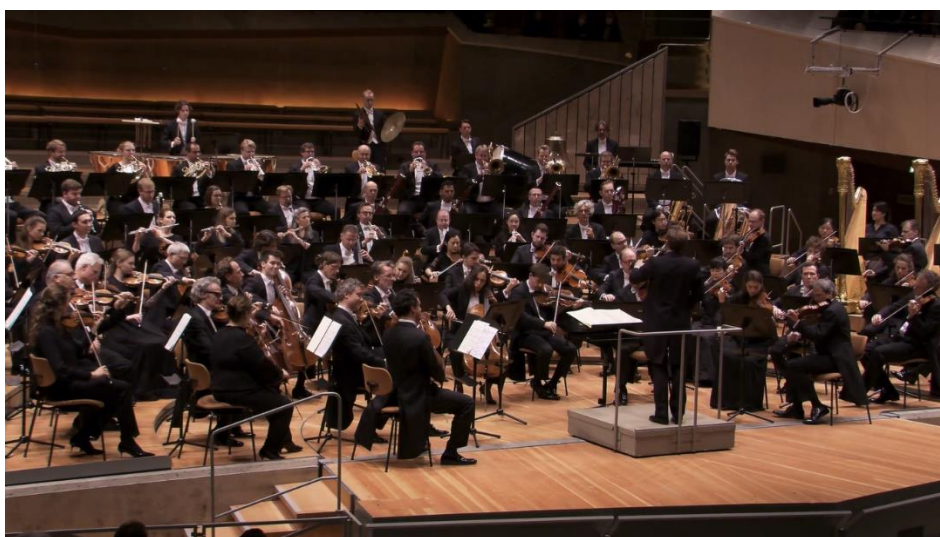
作曲家：リヒャルト・シュトラウス

曲名：交響詩《ツァラトウストラはこう語った》op. 30

演奏：ダニエル・ハーディング指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54362>

2022年10月16日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



以上の他に下記が演奏されました。

ウンスク・チン 《ロカナ》

レイフ・ヴォーン・ウィリアムズ

テノールと管弦楽のための6つの歌曲集《ウェンロック・エッジで》

アンドリュー・ステイプルズ(テノール)

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースのCrystal Eが、スピーカーケーブルの途中とDA-3000に自作の仮想アースが使用されています。さらに、DMR-UBZ1のRCA端子にも自作の仮想アースが使用されています。

リヒャルト・シュトラウスのツァラトウストラは、ベルリンフィルでしばしば演奏される大曲です。要所に仮想アースが使用されている結果、堅実で端正なハーディングの指揮の下、ベルリンフィルの次々と演奏される各パートの楽器の質感や特に低弦の響きやティンパニの連打などもリアルで、全体の色彩感あふれる構成がしっかりと再現できています。

ロカナは中国系らしい女性作曲家の現代曲の作品で、打楽器が活躍する衝撃的な音が連続する曲です。

ウィリアムズのテノールと管弦楽のための6つの歌曲集《ウェンロック・エッジで》も初めて聴くものですが、ステイプルズのテノールのソフトでありながらダイナミックな歌唱が大ホールに響きわたります。

以上